授業科目名		運動		機	能 論 担当教員		担当教員	樋口 善之				
開講年次		1 年後期		セメスター			2	時間数(単位数)	30	30 (2)		
必修選択		必修    授		授	業形態	<b>態</b> 演習		使用教室	室 体育館・グラウンド			
授業の目的		スポーツ科学の基本的な概念と方法を学び、それらに基づいた住民や患者を対象とした運動教授法を身につける。										
到達目標		演習を通してスポーツや身体運動時のメカニズムや機能に関する理論、その実施方法を身につけ、 運動と健康の関連について的確に意味づけることができる。加えて、他者への運動支援を可能にす るための視点と方法および内容に関する基礎的な事項について理解し、日常的に運動を行うための 具体的な計画を立てることができる。										
ディプロマポ リシーにお ける科目の 位置づけ		この科目では運動機能に関する演習を行い、チームやグループでの活動を重視する。その中で「チームで働く力」を育むとともに、自己やグループの課題に気づき、主体的にその課題解決を目指す「自己教育力」の向上を期する。										
ディプロマポ リシーとの 関連		人間の尊厳と権 利を擁護する力 自己		已教育力	チームで働く力		問題解決力	看護の専門性 を探究する力				
				0			0					
						授業計画	<u> </u>					
回		授業内容			授業 方法		学修課題 (予習・復習)			担当者		
1		オリエンテーション 運動. スポーツの捉え方			演習		シラバスを参照し、授業計画全体をとらえる。(予習)		1 時間	樋口		
2		運動機能演習① (バドミントン)			演習 (実技)	バドミン	バドミントンのルールについて予習する			樋口		
3	運動機能演習② (バドミントン)			演習 (実技)	バドミン	バドミントンのルールについて復習する			樋口			
4	運動機能演習③ (ドッヂボール)			演習 (実技)		ドッヂボールの基本的ルールについて 予習する			樋口			
5	運動機能演習④ (ドッヂボール)			演習 (実技)		ドッヂボールを楽しむための様々な工 夫について復習する			樋口			
6	運動機能演習⑤ (バレーボール)			演習 (実技)		バレーボールの基本的ルールについて 予習する		1 時間	樋口			
7	運動機能演習⑥ (バレーボール)			演習 (実技)		バレーボールを運動特性について復習 する		1時間	樋口			
8	運動機能演習⑦ (エクササイズ運動)			演習 (実技)		エクササイズ運動の方法について予習 する		1時間	樋口			
9	運動機能演習® (エクササイズ運動)			演習 (実技)		エクササイズ運動の効果について復習 する			樋口			

10	運動と計画	Ī	演習 (GW)	これまでの活動内容を整理しておく(予習)	1時間	樋口				
11	運動の計画	画と支援①	演習 (実技)	運動のための計画と支援方法につい て予習する	1時間	樋口				
12	運動の計画	画と支援②	演習 (実技)	運動の計画と支援方法について復習 する	1時間	樋口				
13	運動の計画	画と支援③	演習 (実技)	運動の計画と支援方法について復習する	1時間	樋口				
14	運動と健康	Ŧ.	演習	運動と健康の関連について復習する	1時間	樋口				
15	運動機能調 運動支援 題のフィー	こ関する演習および課	演習	授業全般を振り返る	1時間	樋口				
	行履修 科目									
テキスト		特になし								
参考文献		九州大学健康科学センター編:実習で学ぶ健康・運動・スポーツの科学.大修館書店, 2008. 東京大学身体運動科学研究室編:教養としての身体運動・健康科学.東京大学出版会, 2009.								
評価方法		授業への参加度(40%) レポート(運動計画と振り返り30%,運動と健康についての理解30%)								
教員等の 実務経験		教員養成系大学にて、保健体育に関する実技科目および講義を担当している.								
メッセージ		実技・演習を通じて運動機能やスポーツ実践について理解を深めてもらいたい。活動時は楽し 〈安全に行うため、運動に適した服装等の準備、注意事項の遵守をお願いしたい。								